

I 研究年報『経済学』編集方針(2025年3月19日改正)

1. 本誌は東北大学大学院経済学研究科の紀要として、和文ならびに欧文の論稿によって刊行される。本誌の編集は研究年報『経済学』編集委員会（以下、編集委員会と略す）により行われる。編集委員会は寄稿された研究成果を選定し、論文、研究ノート・調査・資料、講演や座談会などの記録および書評に類別して本誌を編集する。

2. 本誌は、原則として年 1 回発行する。

3. 本誌への投稿資格を有する者及び投稿論文の査読は、以下の通りとする。

（1）本研究科に所属する投稿資格者

- ① 教授、准教授、専任講師
- ② 助教
- ③ 非常勤講師
- ④ 博士課程前期 2 年の課程及び博士課程後期 3 年の課程に在学する大学院生（研究生を含む）及び本研究科において研究に従事する日本学術振興会特別研究員、外国人特別研究員、客員研究員、招聘研究員、博士研究員、ならびにこれに準ずると編集委員会が認めた者

このうち、①以外の者の原稿については、編集委員会が選定した査読委員による査読の結果に基づいて、編集委員会が掲載の可否を決定する。

（2）本研究科以外の投稿資格者

- ⑤ 以前に本研究科の教授・准教授・助教授・専任講師・助教であった者
- ⑥ 以前に本研究科の博士課程前期 2 年の課程及び博士課程後期 3 年の課程に在学していたもの
- ⑦ 上記以外の者で、編集委員会が認めた者

⑤、⑥、⑦の者の原稿については、原則として編集委員会が選定した査読委員による査読の結果に基づいて、編集委員会が掲載の可否を決定する。

4. 東北大学大学院経済学研究科の研究成果を広く公開することが本誌の趣旨の一つであることから、以下の論稿等についても投稿を認める。ただし、4. の(1)に該当する論稿等は、査読制度（レフェリー制度）の対象にならないものに限る。

- (1) 投稿要領の原稿枚数を超える投稿論文や連番の投稿論文（1, 2, 3・・・や上中下など）
- (2) 退職記念講演や対談等の記録および議事録
- (3) 指導教員の推薦による特に優れた修士論文および修士論文の抜粋
- (4) 招待論文

5. 査読制度を用いて掲載された研究成果についてはその旨を明記することとする。